



### 第3部門 『世代間をつなぎ、地域を再生するために』 世代間交流についての国際研究集会発表原稿集

(平成 19 年 4 月発行)

A 4 252 ページ

本書は、高齢者の生きがい対策のひとつとして、「世代間交流」に視点をあてた国際フォーラムの研究発表をまとめたものである。世代間交流として、世代間交流プログラムを老年学、子どもの教育、住生活、家族関係、高齢者施設、学校教育などあらゆる側面から世代間交流の事例研究を進めている。

- 発表者 草野篤子 (NPO 法人日本世代間交流協会会長, 信州大学教授)  
福留強 (聖徳大学人文学部生涯教育文化学科教授)  
齊藤ゆか (聖徳大学人文学部生涯教育文化学科講師)  
マット・カプラン (ペンシルバニア州立大学準教授) ほか
- 編集者 矢島さとる (桜美林大学大学院老年学博士後期課程,  
NPO 法人日本世代間交流協会理事・事務局長)  
草野篤子 (NPO 法人日本世代間交流協会会長, 信州大学教授)  
倉岡正高 (ボストン大学教育大学院博士課程,  
NPO 法人日本世代間交流協会理事)  
斎藤嘉孝 (西武文理大学専任講師,  
NPO 法人日本世代間交流協会理事)  
マット・カプラン (ペンシルバニア州立大学準教授)
- コーディネーション ペンシルバニア州立大学  
NPO 法人日本世代間交流協会

#### 目次

### 1章 背景報告書：世代間研究の視点と課題

1. 国際的な視点と課題
2. 日本における視点と課題

### 2章 発表者および著者プロフィール

### 3章 世代間交流の実践事例と課題

1. 教育における世代間交流
2. ヒューマン・サービスにおける世代間交流
3. 幼保育における世代間交流
4. コミュニティにおける世代間交流
5. 文化継承と世代間交流
6. 世代間交流を促進するための政策
7. 世代間交流促進のためのネットワーキング

### 4章 世代間交流の研究と評価

1. 世代間交流の実践における評価の重要性
2. 世代間交流の評価事例
3. 実践と研究における今後の課題：閉会講演より

### 5章 世代間交流国際フォーラムのハイライト

1. サイト・ツアー
2. ワークショップ